

# 賑わう 松之山産業祭

# よこのやま新聞

10月30日に開催された『松之山産業祭』が今年も無事終了した。福祉祭りと同開催という事もあり昨年よりも来客数が多かったようで、各ブースで賑わいを見せていた。

ステージでは歌や踊りで会場全体を盛り上げており、一緒に手拍子を交え歌っておられる観客も。

松之山の協力隊ブースではポン菓子とはちみつ、そ

## 天然ほちみつ大人気

中でも最も人気があった商品は、この度松之山県産で新たな特産品となった『二ホンミツバチ百花蜜』だ。松之山の豊かな大自然の中で、希少な二ホンミツバチが集めた非加熱、無添加の天然ほちみつ。

生産者である布施彦治さんのご厚意で産業祭特別価格1500円で試験的販売をしたところ、11時前に完売。今後の展開に向けた手ごたえとしては大きかったように思う。



ブログもやっています「よこのやまぶろぐ」

今後松之山米と同様、外にアピールできるよう取り組んでゆきたい。隠れた特産品はまだまだきつとある。さらに松之山での情報を収集し、面白いものを取り上げてみようと思う。

来年の産業祭では、松之山の『寶』を発信する企画ができないものだろうか？松之山の頃に取り組まれた『我が家に残したい味と香り』という企画はとても面白いヒントを残してくれているように思える。

して古着を販売。ポン菓子はまずまずの売れ行きで、特に小さなお子さんがポン菓子の袋を手にしていった。ポン菓子は実演販売も実施。3回機械を稼働させたのだが圧力計の不調により1回しか成功せず。その点は残念だった。

古着は広島島の卸から直接仕入れたもの。気温が下がっていたこともありジャケットなどのアウトター類が目立った動きとなっていた。

# 稲刈り体験で笑顔と汗



兎口の滝沢農園に新潟の調理専門学校生100名以上が訪問して行われる米作り体験。毎年の恒例行事だ。春の田植え、初夏の除草を体験、最終の第3回目は10月13日に行われた。学生たちも待ちに待っていた稲刈り体験だ。無農薬で育てられた稲を手刈り、はさかけにする。

今年の稲刈りは昨年と比べ倒伏が多く、学生たちも

相当難儀していたが、仲間と励ましあいながら一生懸命に頑張っていた。普段は食べているだけのお米だけれど、実際に作る側をやってみると大変だった。大切に食べたいと思います」と学生たちはいう。

はさかけしたお米は精米されて学生たちに贈られるそうだ。食べる度に田んぼでの作業を思い出してくれば幸いだ。

# 農業回誌

今年の米作りは終わった。分からないことばかりであったが、集落の皆さんに色々ご指導いただきどうにかお米になった。ありがたうございました。3枚の田んぼ1.8反で12俵の収穫。反収にして6.6俵という実績であった。

畑の方はキャベツ、大根が順調に生育中。白菜は育ちがいまいちで、植えたのが少し遅かったのかもしれない。10月半ばに玉ねぎを定植。うまく冬を越せるか？楽しみだ。

## パソコン個別相談好評です

パソコンの不具合が解消しない！操作方法が分からない！などのお困りごとがございませんか？無料出張相談を随時行っております。

これまでもエクセル操作やPCメンテナンスなど多くのご相談を頂いております。スマホの操作などお手伝いいたします！お問い合わせは地域おこし協力隊横山、もしくは松之山支所地域振興課まで。電話028-5996-3131